

施策評価シート (令和3 年度の振り返り、総括)

作成日 令和4 年 06月 20日

施策 No.	31	施策名	交通安全の推進
主管課名	くらし安全課	電話番号	0285-83-8110
関係課名	くらし安全課、いきいき高齢課、建設課、学校教育課		

1. 計画 (Plan)

施策の対象	市民、市内の道路利用者 (車両運転者・歩行者)						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874	78,144				

施策の目標	市民一人一人が交通ルールを守り、交通マナーが向上するとともに、交通安全施設や道路の整備が進み、交通事故発生件数が減少しています。
-------	--

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の開催数及び参加者数は、実績とする。 カーブミラーの数は、新設、撤去、更新、移設後の実数とする (累計) 。
-------------------------------	---

成果指標名	単位	平成30年度 基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度 目標値
交通安全教室の開催数	目標値	170	176	182	188	194	200	200
	実績値		86	106				
交通安全教室参加者数	目標値	17,455	17,664	17,873	18,082	18,291	18,500	18,500
	実績値		8,942	10,488				
カーブミラーの数 (累計)	目標値	3,088	3,100	3,112	3,125	3,137	3,150	3,150
	実績値		3,122	3,135				
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民の役割：高い交通安全意識を持ち、交通ルールを守り交通マナーの向上に努めます。</p> <p>行政の役割：交通事故防止のための各種啓発や、交通環境の整備として交通安全施設及び道路の整備を進めます。</p>
-------------------------	--

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

交通事故や交通違反がなくなるよう、交通安全教室の開催等による交通安全意識の向上や、カーブミラー等の交通安全施設の整備に取り組んできた。また、春、秋、年末の交通安全県民総ぐるみ運動では、関係団体の協力を得て街頭指導を実施し、また、コロナ禍ではあったが規模を縮小して交通安全市民大会を開催するなど、市民の交通安全に対する意識啓発に取り組んだ。

幼稚園・保育園、小中学校向け交通安全教室の開催数、参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標の約6割となった。カーブミラーは、地域からの要望を基に一般国道408号真岡南バイパスなど道路新設・拡幅等による、新たな交通危険個所に13基設置し目標を超えている。

市内の交通事故は、118件発生し前年より18件減少、市内で発生した死亡事故はなかったが、高齢者が当事者となる交通事故が増加している。(事故件数の対象期間は暦年)

(2) 今後の方向性 ((1)の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

小学校、幼稚園、保育所などでの交通安全教室や地域づくり事業による交通安全座談会等を通して交通安全意識の向上を図る。また、交通安全市民大会や交通安全県民総ぐるみ運動により、市民の交通安全に対する意識啓発を図る。

地域からの設置要望などから交通危険個所を把握し、カーブミラー、赤色回転灯、警戒標識等の交通安全施設を設置することで、交通事故の防止に努める。

高齢者の運転による交通事故防止を図るため、高齢者運転免許証自主返納支援事業により、いちごタクシー・いちごバスの共通無料券、民間タクシー利用券を交付し、自主返納者の買い物や通院の支援を継続する。

交通安全協会、交通安全母の会、警察、学校など関係機関と連携し、交通安全の周知・啓発を行う。

